

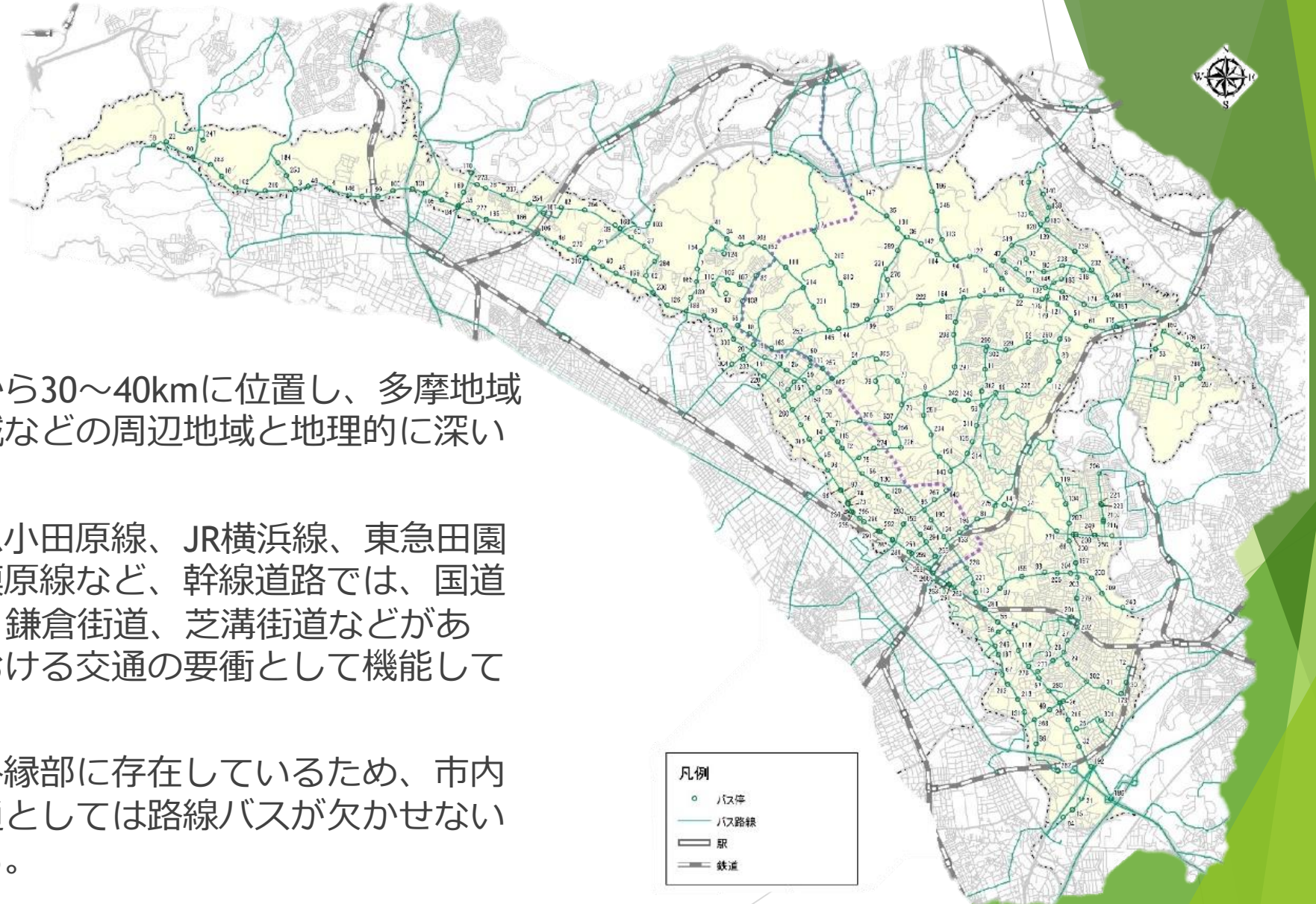
# 地域公共交通の姿を考える行政連絡会 －町田市取り組み－

2020.12.14 町田市都市づくり部交通事業推進課

# 目次

1. 町田市の交通に係る地域特性
2. 町田市の交通に関する計画
3. 町田市の交通に関する主な取組
4. 地域コミュニティバス運行事業
5. 新たな公共交通サービスの導入検討

# 1. 町田市の交通に係る地域特性



- ▶ 町田市は、都心から30～40kmに位置し、多摩地域や神奈川県央地域などの周辺地域と地理的に深いつながりにある。
- ▶ 鉄道では、小田急小田原線、JR横浜線、東急田園都市線、京王相模原線など、幹線道路では、国道16号、町田街道、鎌倉街道、芝溝街道などがあり、多摩南部における交通の要衝として機能している。
- ▶ 鉄道駅が市域の外縁部に存在しているため、市内の主要な公共交通としては路線バスが欠かせないものとなっている。

## 2. 町田市の交通に関する計画

### — 町田市交通マスタープラン（2006年度） —



- ▶ 社会状況の変化を的確に捉えつつ、多様な交通モードを総合的に展開するため、町田市における交通施策の基本方針として2006年度に策定。

#### 基本目標Ⅰ だれもが公共交通を使って不便なく移動できるまちにする

- 路線バスをより利用しやすくする  
小山田桜台・多摩南部地域病院間バス運行補助、連節バス導入補助など
- 鉄軌道の導入検討  
多摩都市モノレールの町田方面延伸、小田急多摩線の延伸
- 地域の実態に応じた公共交通サービスの検討  
地域コミュニティバスの運行、小型乗合交通の導入検討など
- バリアフリー化の推進  
町田市バリアフリー基本構想の策定・改定

#### 基本目標Ⅱ だれもが中心市街地へ訪れやすく、回遊して楽しめるようにする

#### 基本目標Ⅲ 人やモノが早く、正確に、信頼性高く移動できるまちにする

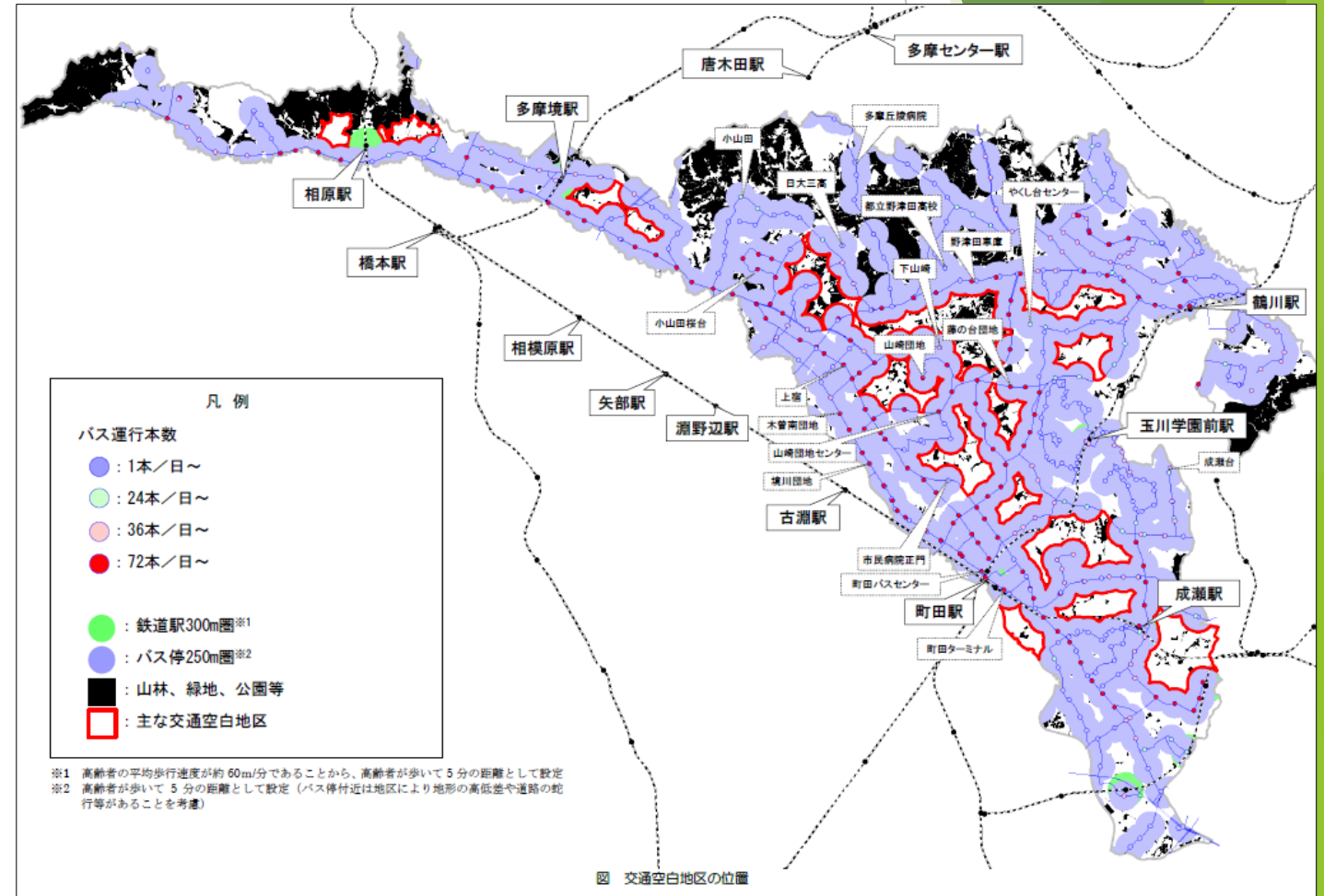
#### 基本目標Ⅳ 交通による環境負荷や交通事故の少ないまちにする



## 2. 町田市の交通に関する計画 —町田市便利なバス計画（2014年度）—

- ▶ 山崎団地センター⇄町田バスセンター間での連節バス運行開始、バス運行案内表示機の設置など、市内の重要な足であるバスの利便性向上策を実施してきた。
- ▶ 2014年6月に、町田市内の移動しやすさの向上、定時性・速達性の向上、交通空白地区のサービス向上を目的として、「町田市便利なバス計画」を策定。
- ▶ 利便性と運行効率性を高めるネットワークの構築を目指す。
- ▶ 交通空白地区：町田市では、自宅から最寄りの鉄道駅までの距離が300m、かつ最寄りのバス停留所までの距離が250m以上離れた地域を交通空白地区に設定。
- ▶ 市では、そのうち16カ所の「主な交通空白地区」から優先的に、解消に向けた取り組みを実施。

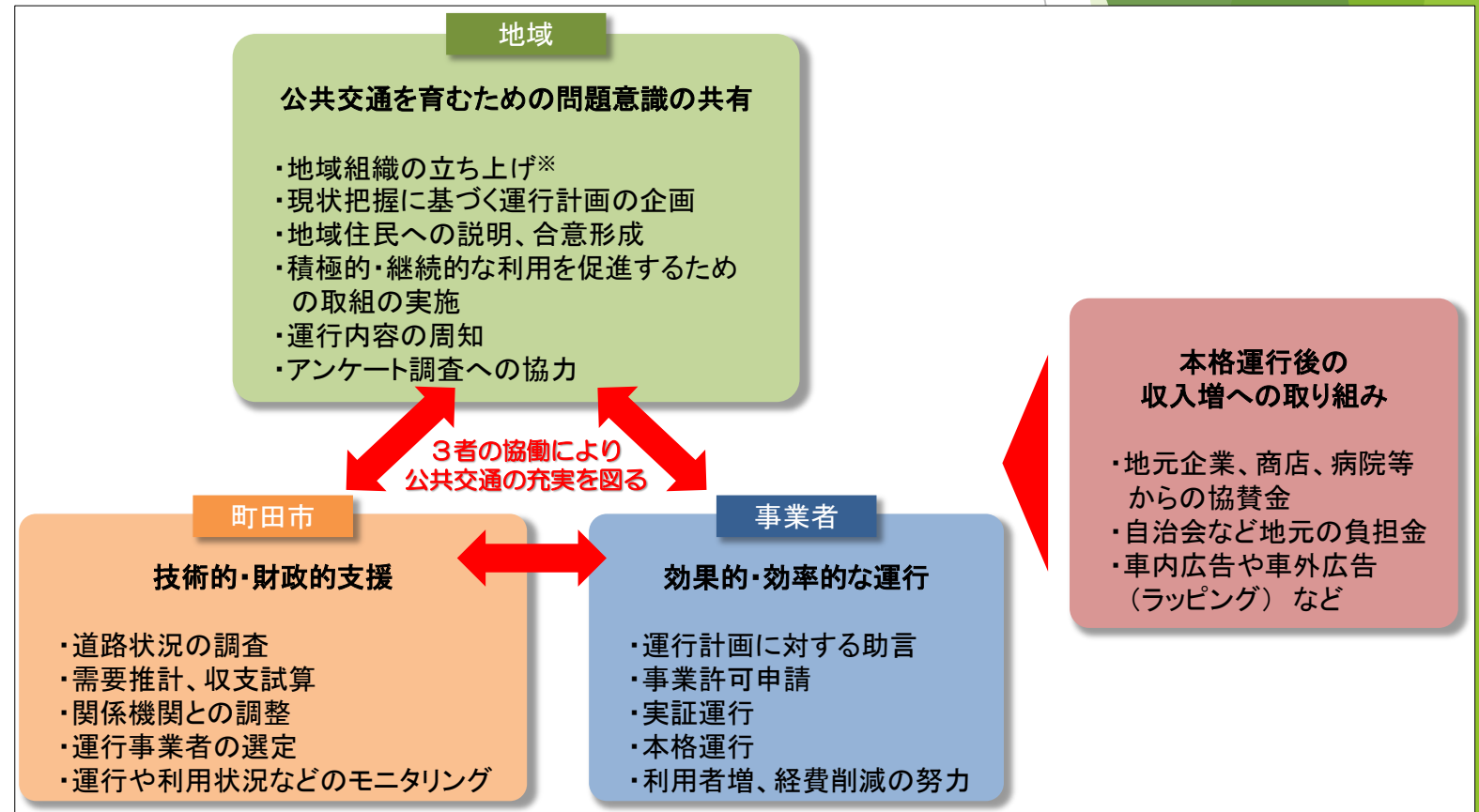
【交通空白地区位置図】



## 2. 町田市の交通に関する計画 —町田市便利なバス計画（2014年度）—

- ▶ 町田市では、交通空白地区において新たな公共交通サービスを導入したいと考える地域に対して、検討及び導入の支援を行っている。
- ▶ 「地域」「町田市」「事業者」の三者がそれぞれの役割を担い、導入に向けた取組を進めていくことが重要だと考えている。
- ▶ 三者協働の取り組みで、現在2地区でコミュニティバスを運行、4地区で新規導入検討を実施している。

### 【新たな公共交通サービス検討のための役割分担】



# 3. 町田市の交通に関する主な取組

**小田急多摩線の延伸**



唐木田から小山田、JR相模原駅を経由し、上溝に至る延伸線を検討しています。

**多摩都市モノレールの延伸**



多摩センターから小山田、山崎団地を経由し、町田駅に至るルートを検討しています。

**玉ちゃんバス(北・東・南)**



玉川学園前駅を中心として、計3ルートが運行しており、年間60万人以上が利用しています。

**市民バスまちっこ相原ルート**



大地沢青少年センター～相原～市民病院～町田ターミナルを結んでいます。

**市民バスまちっこ公共施設巡回ルート**



町田バスセンターを起終点に、市役所、市民病院などを巡回しています。

**小山田桜台・多摩南部地域病院間**



小山田桜台～山中集会所～唐木田駅～多摩南部地域病院を結んでいます。

**ホームドア整備**

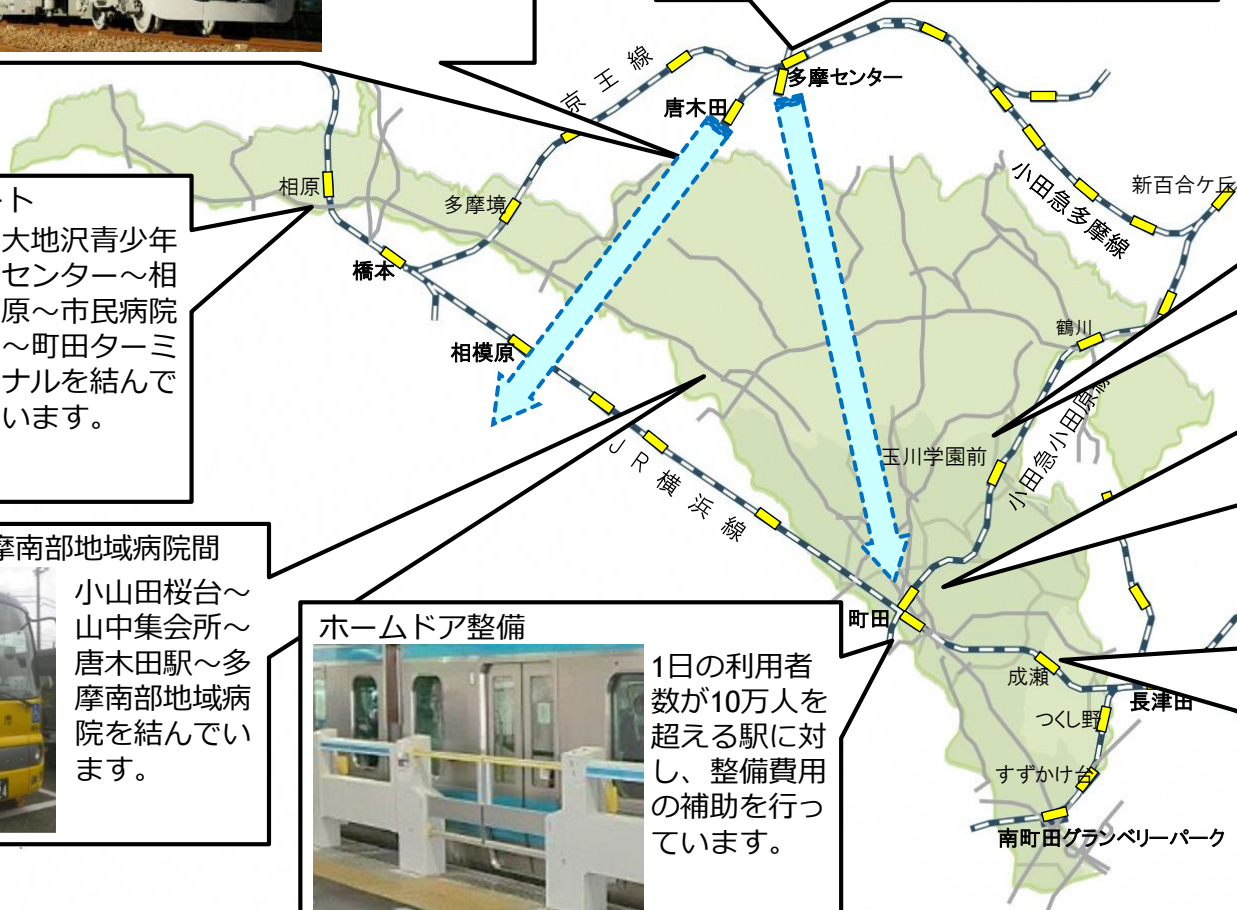


1日の利用者数が10万人を超える駅に対し、整備費用の補助を行っています。

**かわせみ号成瀬駅ルート**



成瀬駅を起終点に、成瀬が丘や都営金森などを巡回しています。



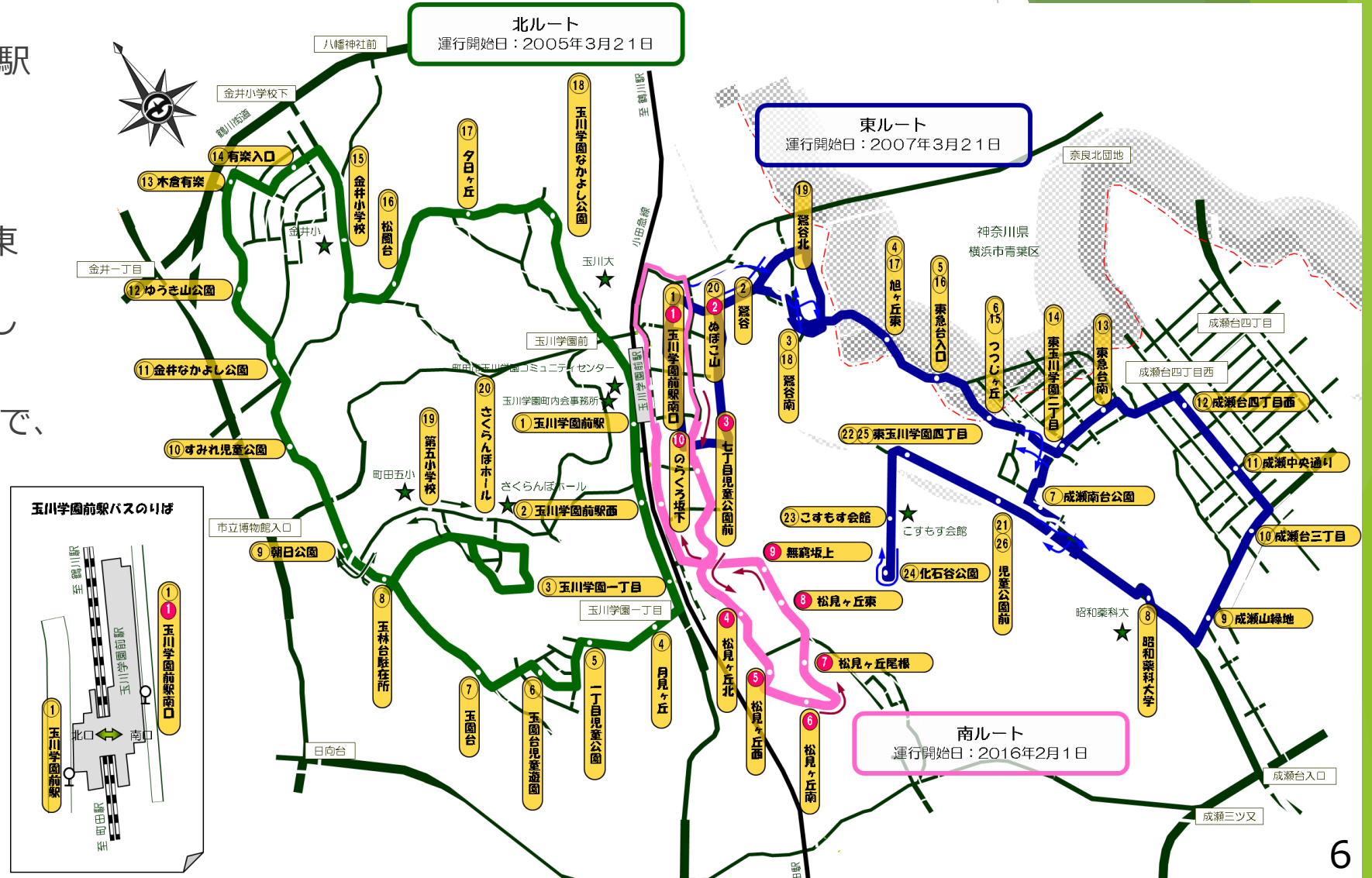


# 4. 地域コミュニティバス運行事業

## ①玉ちゃんバス（玉川学園）

- ▶ 玉ちゃんバスは、玉川学園前駅周辺を運行しているコミュニティバスで、北・東・南の3ルートがあります。
- ▶ 北ルートは2005年3月から、東ルートは2007年3月から、南ルートは2016年2月から運行しています。
- ▶ 運賃は現金180円（IC178円）で、シルバーパス利用可能です。

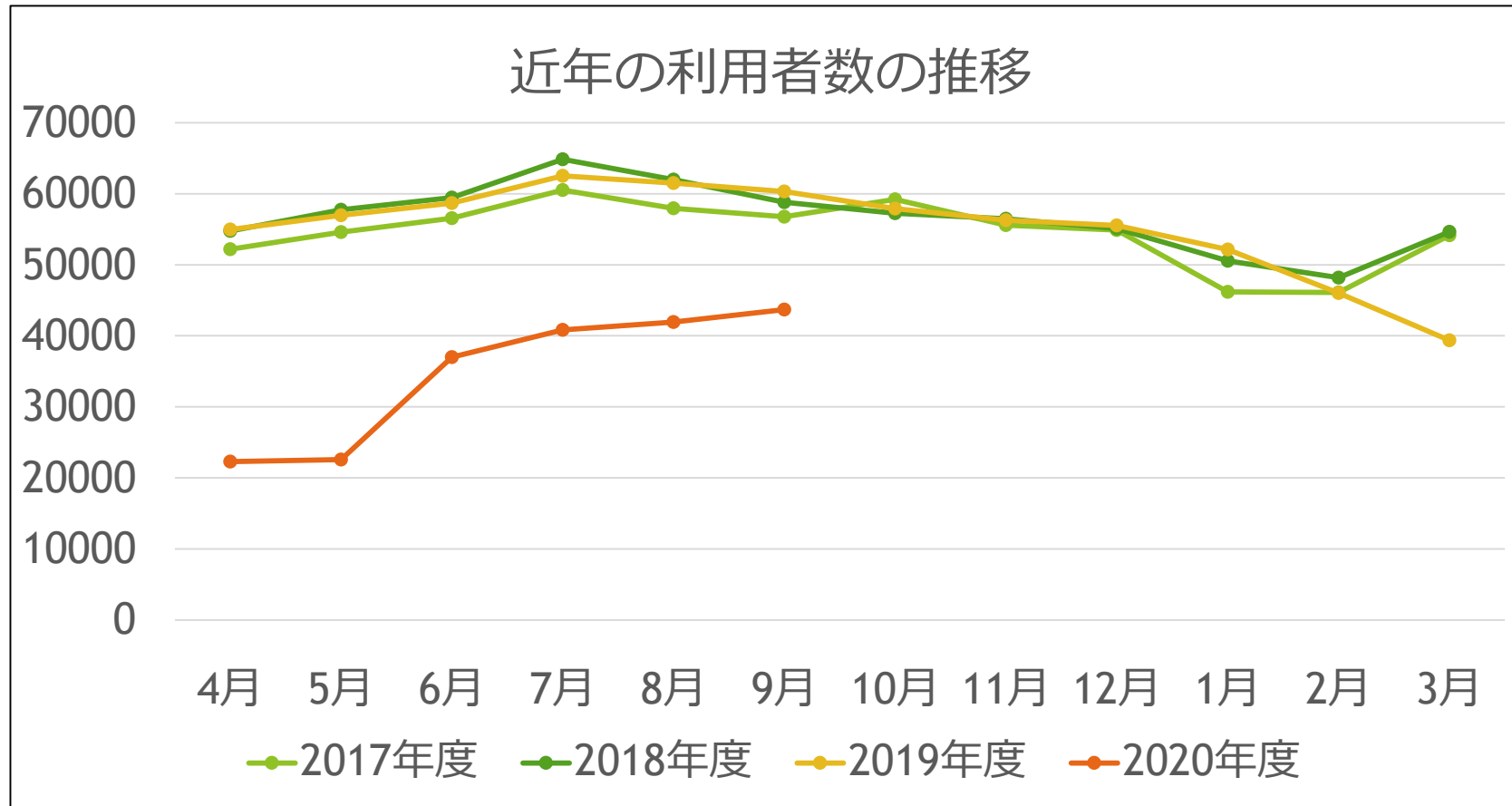
### 【運行車両】





## 4. 地域コミュニティバス運行事業

### ①玉ちゃんバス（玉川学園）



年度	合計利用者数 (3ルート合計)
2017年度	654,739人
2018年度	679,882人
2019年度	662,238人
2020年度	208,324人 ※9月末時点

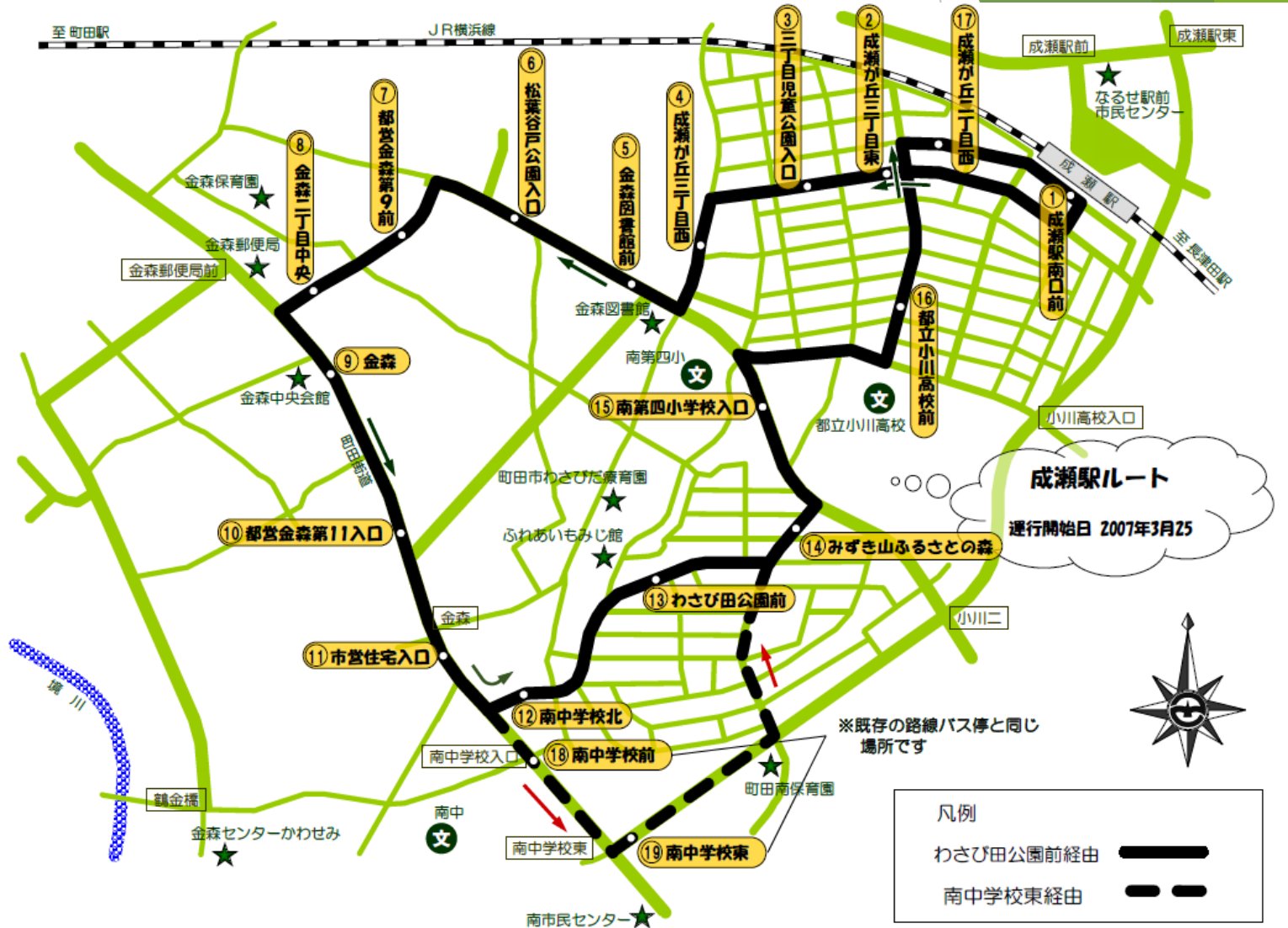
- ▶ 3ルート合計で年間60万人以上が利用しており、地域にお住まいの方の足として定着しています。
- ▶ 2020年3月以降、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数が低迷しています。

# 4. 地域コミュニティバス運行事業

## ②かわせみ号成瀬駅ルート（成瀬）

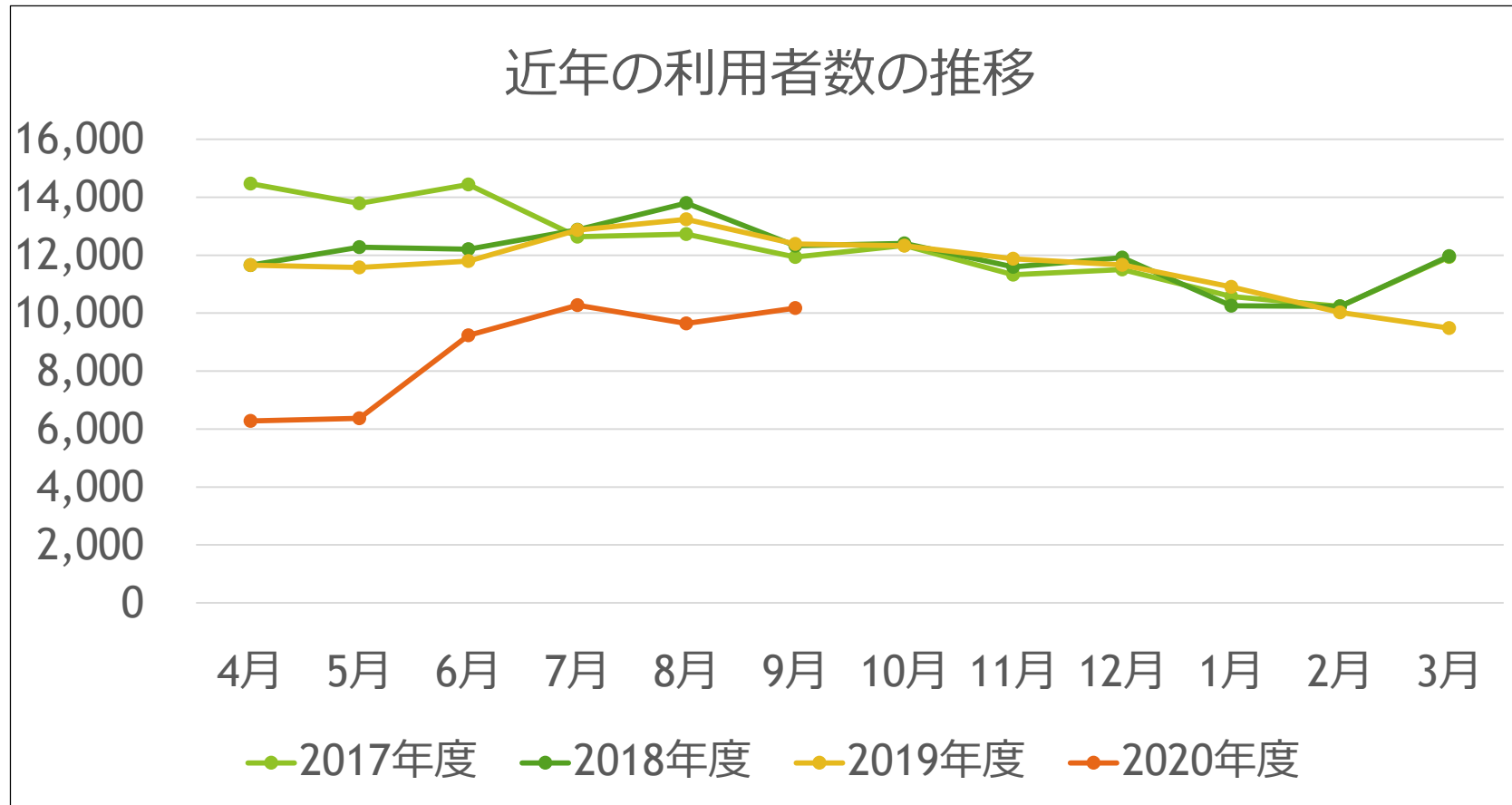
- ▶ かわせみ号は、成瀬駅の南側を運行しているコミュニティバスで、2007年3月25日から運行開始しています。
- ▶ 運賃は現金180円（IC178円）で、70歳以上の方は現金100円です。

### 【運行車両】



## 4. 地域コミュニティバス運行事業

### ②かわせみ号成瀬駅ルート（成瀬）



年度	合計利用者数
2017年度	147,927人
2018年度	143,524人
2019年度	139,798人
2020年度	51,957人 ※9月末時点

- ▶ 年間14万人程度が利用しています。
- ▶ 2020年3月以降、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数が低迷しています。





# 5. 新たな公共交通サービスの導入検討

## ②実証実験運行の状況

		1	2	3	4	5
事業の概要	事業名	あいほらシャトル 丸山団地号 (第1回実証実験)	あいほらシャトル 丸山団地号 (第2回実証実験)	シャトルぽんまちだ	つくし野くるり	さくら号
	運行区間	相原駅西口 ～丸山団地	相原駅西口 ～丸山団地	町田市民病院 ～本町田地区	北ルート：つくし野駅 ～つくし野1・2丁目 南ルート：つくし野駅 ～つくし野3・4丁目	成瀬駅～成瀬クリーン センター
	運行距離	上り：1.5km 下り：1.2km	上り：2.2km 下り：2.0km	1周4.6km	北ルート：1周2.5km 南ルート：1周3.5km	往路：2.1km 往路：1.7km
	1日あたり 運行便数	各6便	上り：6便 下り：7便	10便	各8便	各8便
	運行期間	2018年2～3月	2018年10月 ～2019年9月	2019年10～12月	2020年2～3月	2020年2～3月
運行実績	延べ運行便数	468便	3,133便	590便	624便	624便
	延べ利用者数	466人	4,195人	300人	192人	317人
	1便平均 利用者数	1.00人/便	1.34人/便	0.51人/便	0.31人/便	0.51人/便



# 5. 新たな公共交通サービスの導入検討 — 支え合いによる移動支援の取組 —

## 【鞍掛台買物・外出支援プロジェクト】



- ▶ 鞍掛台自治会が主体となり、近隣の4つの社会福祉事業所、高齢者支援センター等と連携し、送迎車を運行。
- ▶ 地域内を循環するルートで、週2回（火・金曜日）、運行日は10：30～12：50の間に5便を運行。
- ▶ 道路運送法の適用外（無償の運行）。

## 【鶴川団地活性化プロジェクト】



- ▶ 社会福祉法人が主体となり、鶴川団地地域支え合い連絡会、市内事業者、UR都市機構等と連携し、送迎車を運行。
- ▶ 「グリーンスローモビリティ」に該当する電動カートによる運行。週3日運行日を設定。
- ▶ 登録制（登録料500円/年）、利用者は運行日に予約する。
- ▶ 自家用有償旅客運送（交通空白）による運行。